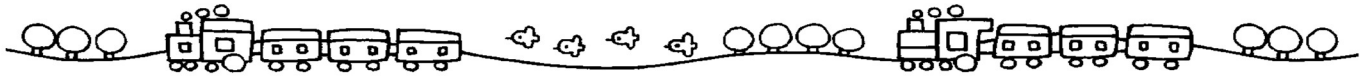


うさぎぐみだより



2024年9月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ



まだまだ暑い日が続いていますが、少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。今年の夏は水遊びをたっぷり満喫して逞しく成長したうさぎ組です。「じぶんで」と、帽子をかぶろうとしたりエプロンをつけようとしていたり、自分でできることも増えてきました。「じぶんで」と頑なに主張したかと思うと、やってもらいたくてグズって甘えたりすることもあります。子どもが甘えてくるときはエネルギー補給を必要としているときです。たっぷり甘えさせてあげてくださいね。また、言葉も増えてきてコミュニケーションが少しずつ取れるようになり、子どもたちもうれしそうです。今月は戸外に出かけて秋の気配を子どもたちと一緒に感じたり発見したりしていきたいと思います。

～ブロック遊び～

いつの間にか手先がとっても器用になり、ブロックを繋げることがじょうずになりました。今はブロックを長くつなげることがブームになっています。どんどん友だちに伝染しています。真剣な顔で一糸懸念に格闘している姿がかわいく、素敵です。できあがると「なが〜い」と、得意顔で見せてくれる姿が誇らしげです。そ〜っと見守り、ときに手を貸し、「なが〜いね」「すごね」と、共感することを大切にしています。



色水遊び

赤・青・黄色の食紅を使って色水遊びをしました。水に色がついていて、いつもとは違う水遊びに「あかだね」「あおだね」「きいろだね」と、大興奮の子どもたちでした。保育者がカップに入った色水に違う色の色水を入れて色を変化させると「わあ〜」という感じで驚き、目をパチクリパチクリさせていました。「もういっぱい」のリクエストで、繰り返し楽しみました。



手遊び 「いっぽんばし」



いっぽんばし こ〜ちょちょ な〜でて な〜でて
かいだんのぼって こ〜ちょちょ

いっぽんばしの手遊びが始まるとどこからともなく集まってくる子どもたちです。自分も自分もと、くすぐってもらい大笑いをしています。繰り返しやっているうちに今度はやってあげるよという仕草を見せてくれます。家族でくすぐりっこをして大笑いでリラックス。夏の疲れを吹き飛ばしてみてください。